



箱根町職員対象『SDGs まちづくり研修』

令和5年11月17日(金) 包括連携協定を結んでいる横浜国立大学と一緒に、町職員を対象とした『SDGs まちづくり研修』を行いました。

SDGs17のゴールを意識したまちづくりを、体験型ボードゲームから、様々な施策によって変化する『人口』と『環境』兼ね合いや、『税金』の使い方などを学びました。

今回は各部署から計16名の職員が参加し、SDGsについての知識を深めるとともに、所属部署に学びを持ち帰ることで、庁内のSDGs推進を図りました。

SDGsの推進・発信

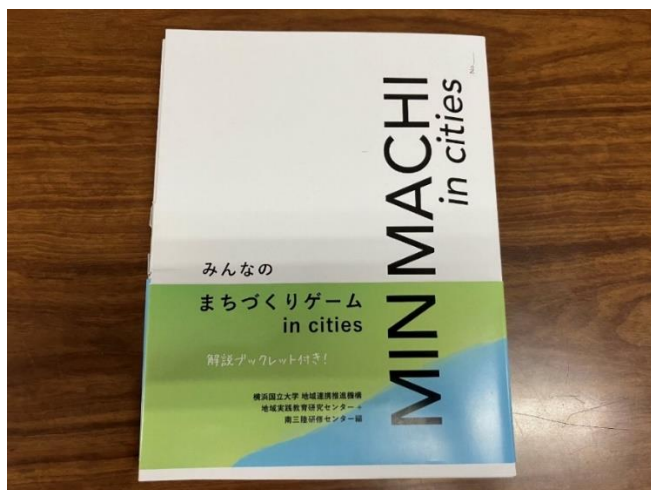
町全体でSDGsを推進できるよう、率先して行動するほか、町内での取り組みを発信していく。

SDGsを知る

SDGsに興味を持ち、家族や友人、地域や職場の人と一緒に考え、協力してSDGsの実現を図る。

みんなで取り組む「SDGs」

様々な組織が人材、知識、技術、経験等の社会資本を提供し合い、一丸となってSDGsを推進していく。



横浜国立大学と南三陸研修センターで共同開発した研修型ボードゲーム『みんなのまちづくりゲーム in cities』

チーム対抗で地域経済やSDGsを学ぶことができる。

横浜国立大学の池島准教授から研修の説明を受け、ゼミの学生たちのサポートの下、ボードゲームでSDGsを学ぶ町職員。

